

新公立病院改革プラン

団体コード	331007
施設コード	005

団体名	岡山市														
プランの名称	岡山市立金川病院改革プラン														
策定日	平成 29 年	3 月	31 日												
対象期間	平成 29 年度	～	平成 32 年度												
病院の現状	病院名	国立病院機構岡山市立金川病院	現在の経営形態 指定管理者制度(利用料金制)												
	所在地	岡山市北区御津金川449番地													
	病床数	病床種別	<table border="1"> <tr> <td>一般</td> <td>療養</td> <td>精神</td> <td>結核</td> <td>感染症</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30</td> </tr> </table>	一般	療養	精神	結核	感染症	計	30					30
		一般	療養	精神	結核	感染症	計								
30					30										
一般・療養病床の病床機能	<table border="1"> <tr> <td>高度急性期</td> <td>急性期</td> <td>回復期</td> <td>慢性期</td> <td>計※</td> <td rowspan="2">※一般・療養病床の合計数と一致すること</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>30</td> <td></td> <td>30</td> </tr> </table>	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること			30		30			
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること										
		30		30											
診療科目	科目名	内科、外科、眼科、皮膚科、リハビリテーション科 (計5科目)													
(1) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割(対象期間末における具体的な将来像)	<p>本病院は前改革プラン期間中に、病院の所在する御津地域を含む岡山市内北部地域の医療ニーズに応えるため、①地域住民の健康を支えてきた医療機能の継続と充実を図ること、並びに、②地域における救急医療をはじめとした急性期医療体制の充実を図ることを目的に「再編・ネットワーク化」に取り組んだ。具体的には、本病院と距離的に近く、病院間の連携並びに機能分担が図られやすく、地域住民が最もよく利用している急性期病院である独立行政法人国立病院機構岡山医療センター(以下「岡山医療センター」という。)を指定管理者として連携を図り、本病院は岡山医療センターの後方支援の役割を果たすこととなった。実際、平成26年度には一部病床を地域包括ケア病床に転換し、回復期病床としての機能を明確にしている。また、再編にあたって60床から30床の病院として建替えを行い、削減した病床については、岡山市北部地域の急性期医療体制の充実・強化を図るために、岡山医療センターへ移管し活用しているところである。</p> <p>平成28年4月に岡山県が策定した岡山県南東部保健医療圏の地域医療構想では、圏域の高度急性期・急性期の病床数が多いのに対して、回復期の病床数が少ないことが指摘された。平成37年に向けて圏域全体では推計で1,903床の病床削減が求められる一方で、回復期病床は1,798床が不足すると推計されており、本病院は、岡山医療センターとの連携を継続し、回復期病床としての役割を果たしていく必要がある。</p> <p>なお、本病院の果たす具体的な主たる機能は次のとおり。</p> <p>①初期救急医療機能等 地域住民に安心を提供するための初期救急医療及び地域の医療機関として多様な住民ニーズに対応した幅広い診療を行う。</p> <p>②回復期に対応する機能 患者の機能回復、急性期医療を担う基幹病院と連携した回復期リハビリテーションを実施する。</p> <p>③地域医療機関との連携機能 地域の保健・医療福祉ネットワーク形成のため、地域の診療所、保健福祉施設等の連携を促進する。</p> <p>④健康診断や健康相談などの予防医療を推進し、地域住民の健康づくりに貢献する。</p>													
	平成37年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	<p>少なくとも平成33年度までの指定管理期間中は、「独立行政法人国立病院機構岡山医療センターと岡山市立金川病院における病院再編計画」記載のとおり、岡山医療センターの後方支援病院としての役割を果たす。その後については、地域医療構想を踏まえ圏域内における本病院の位置づけ、役割を検討する。</p>													
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<p>本病院は、地域医療機関との連携や予防医療の推進による地域住民の健康づくり等を病院の主たる機能としていることから、地域包括ケアシステムの構築にあたり、特に在宅医療・介護連携推進の機能を果たす。</p> <p>なお、現在すでに取り組んでいる活動は次のとおり。</p> <p>①岡山市が推進する在宅医療・介護連携の取組みへの参加・協力 地域で中心的な役割を果たしている在宅医療・介護の専門職が参集する会議に参加し、連携体制構築に向けて地区課題の協議を行っている。また、現場レベルの多職種の研修や顔の見える関係づくりを進める意見交換会へ参加している。さらに、市民と専門職の意見交換会を岡山市と共同により開催することにより、多職種間の連携のみではなく、市民への普及啓発を行っているところである。</p> <p>②みつネットの活動 御津医師会のプロジェクトである「御津医師会地域連携室みつネット」の活動に参加することにより、地域の診療所、ケアマネジャー等医療介護の専門職との情報交換を行い、在宅医療・介護連携を推進している。</p>													
	③ 一般会計負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>平成24年度より利用料金制による指定管理者制度を導入しているため、指定管理期間中(平成33年まで)は、総務省繰出基準ではなく、建物に係る費用(建設に係る企業債元利償還金、修繕費、改良工事費が主なもの)を全額一般会計負担とする考え方とする。</p>													
(4) 医療機能等指標に係る数値目標	別添「国立病院機構岡山市立金川病院 平成29年度事業計画」参照														
(5) 住民の理解のための取組	<p>現在、地域住民を対象として、健康づくりや知識向上、病院職員との交流を目的に、院内で健康教室を開催している。また、地域で開催する健康教室にも参加し、地域との交流を行っている。さらに、院外で医療分野だけでなく、介護や健康、地域や生活に関する相談を受ける「暮らしの保健室」を開くなど地域との連携を図っている。</p>														

(2) 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標									
	1) 収支改善に係るもの	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考	
	経常収支比率(%)	23.0	23.6	33.2	64.7	65.1	65.8	66.7		
	医業収支比率(%)	0.4	0.2	0.2	5.4	6.2	6.6	7.2		
2) 経営の安定性に係るもの	26年度(実績)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	備考		
(例)現金保有残高(千円)	300	300	300	300	300	300	300			
上記数値目標設定の考え方	収支については、単年度の資金収支を均衡させることを基本としている。建物についても、新設からまだ年数が経過していないことから、計画期間中の大規模な改修はないものと想定している。									
② 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	経費削減・抑制対策	予防保全型維持管理を基本とし、施設の長寿命化を図る。								
③ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載									
(3) 再編・ネットワーク化	当該公立病院の状況	<input type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある								
	二次医療又は構想区域内の病院等配置の現況	県南東部保健医療圏(二次医療圏)における病院施設数は80(一般病院73、精神科病院7)、一般診療所は860となっている。(平成25年10月1日現在・岡山県保健医療計画) 本病院はこの圏域における人口の約80%を占める岡山市の北部地域に位置しており、病院は、本病院の南10Kmに指定管理者である岡山医療センター、さらに南約3Kmに岡山中央病院(162床)、北約10Kmに岡山市久米南町組合立国民健康保健福祉病院(60床)が立地している。東西には山間部を越えなければ病院がない状況である。本病院の所在する御津地域の診療所は、現在4か所となっている。								
	当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>							
	実施済	「(1)地域医療構想を踏まえた役割の明確化」に記載のとおり、前改革プラン期間中に「再編・ネットワーク化」に取り組んだ。								
(4) 経営形態の見直し	経営形態の現況(該当箇所)に✓を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合								
	経営形態の見直し(検討)の方向性(該当箇所)に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行								
	経営形態見直し計画の概要(注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容>							
	未定	平成24年度から平成33年度まで、10年間の指定管理者制度導入。平成34年度からの経営形態については、指定管理者制度導入の効果を検証し、検討を行う。								
※点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	①指定管理者制度導入中のため、地方自治法第244条の2第7項に基づき指定管理者から毎年度終了後に事業報告書の提出を受け、岡山市公共施設等マネジメント推進委員会へ報告することにより、適正な管理が行われているかどうかを確認する。 ②岡山市公の施設の管理等に関する規則に基づき、市民ニーズ等や管理運営方針について検討を行い(公の施設の点検)、岡山市公共施設等マネジメント推進委員会へ報告を行う。								
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	①毎年度事業終了後 ②指定管理期間終了までにて実施。								
	公表の方法	①岡山市公共施設等マネジメント推進委員会への報告による。 ②公の施設の点検結果については、公共施設等マネジメント推進委員会による検討・承認後、市議会(保健福祉委員会)に報告を行う。								

(別紙1)

団体名 (病院名)	岡山市 (国立病院機構岡山市立金川病院)
--------------	-------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		年度							
		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収	1. 医業収益 a	1	0	0	0	2	2	3	3
	(1) 料金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他	1	0	0	0	2	2	3	3
	うち他会計負担金	1	0	0	0	2	2	3	3
入	2. 医業外収益	11	11	12	17	32	32	32	32
	(1) 他会計負担金・補助金	11	11	11	11	11	11	10	10
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	0	0	1	5	21	21	22	22
	(4) その他	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益(A)	12	12	12	17	34	34	34	35	
支	1. 医業費用 b	37	35	35	35	37	38	38	38
	(1) 職員給与費 c	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 材料費	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 経費	1	0	0	0	2	2	2	3
	(4) 減価償却費	36	35	35	35	35	35	35	36
	(5) その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外費用	15	15	15	15	15	15	14	14
	(1) 支払利息	11	11	11	11	11	11	10	10
	(2) その他	4	4	4	4	4	4	4	4
	経常費用(B)	52	50	50	50	52	52	52	52
経常損益(A)-(B)(C)	▲40	▲39	▲38	▲33	▲18	▲18	▲18	▲17	
特別損益	1. 特別利益(D)	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲40	▲39	▲38	▲33	▲18	▲18	▲18	▲17	
累積欠損金(G)	▲86	▲124	▲162	▲196	▲214	▲232	▲250	▲268	
不良債務	流動資産(ア)	0	0	0	0	0	0	0	0
	流動負債(イ)	0	1	6	21	21	22	22	22
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0	0
不良債務差引[(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)(オ)	0	1	5	21	21	21	22	22	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	23.0	23.0	23.6	33.2	64.7	65.1	65.8	66.7	
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0	425.0	8,283.3	31,109.1	1,032.3	918.4	856.5	798.5	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	2.2	0.4	0.2	0.2	5.4	6.2	6.6	7.2	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方財政法施行令第15条第1項により算定した資金の不足額(H)	0	1	5	21	21	21	22	22	
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	425.0	8,283.3	31,109.1	1,032.3	918.4	856.5	798.5	
病床利用率									

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企 業 債 償 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	3	0	1	5	24	24	24	25
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	3	0	1	5	24	24	24	25
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	3	0	1	5	24	24	24	25	
支 出	1. 建 設 改 良 費	3	0	0	0	3	3	3	3
	2. 企 業 債 償 還 金	0	0	1	5	21	21	21	22
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	3	0	1	5	24	24	24	25	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	0	0	0	0	0	0	0	0	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	0	0	0	0	0	0	0	0	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
収 益 的 収 支	(6)	(6)	(6)	(6)	(7)	(8)	(8)	(8)
資 本 的 収 支	(3)	(0)	(0)	(3)	(13)	(13)	(14)	(14)
合 計	(10)	(6)	(6)	(8)	(21)	(21)	(21)	(21)

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

国立病院機構岡山市立金川病院

平成29年度事業計画

【抜粋】

○ 経営計画

1 患者数分析

(1) 科別患者数

科別外来患者数 (実日数 244 日)

診療科	外来患者来院数				一日平均患者数	
	初診患者	再診患者	計	内併診	全体	併診外
内科	366	7,077	7,443		30.5	
外科	672	2,749	3,421		14.0	
眼科	89	862	951		3.9	
皮膚科	39	512	551		2.3	
リハビリテーション科	42	3,189	3,231		13.2	
合計	1,208	14,389	15,597		63.9	

※ 眼科は、週 1 回、年 50 日

皮膚科は、隔週 1 回、年 25 日

科別入院患者数 (実日数 365 日)

診療科	入院患者数			一日平均患者数	平均在院日数	病床数	病床利用率
	新入院	退院	延入院数				
内科	148	146	3,560	9.7	24.2	12	80.8
外科	165	167	6,313	17.3	38.0	18	96.1
合計	313	313	9,873	27.0	31.5	30	90.0

(2) 科別患者数 (年次計画)

科別外来患者数

(日、人)

診療科	年度区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	日数	244	244	244	243	242
内科	延患者数	7,443	7,443	7,443	7,412	7,382
	1日平均患者数	30.5	30.5	30.5	30.5	30.5
外科	延患者数	3,421	3,421	3,421	3,407	3,393
	1日平均患者数	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
眼科	延患者数	951	951	951	947	943
	1日平均患者数	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
皮膚科	延患者数	551	551	551	549	546
	1日平均患者数	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
リハビリ	延患者数	3,231	3,231	3,231	3,218	3,205
テーション科	1日平均患者数	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2
合計	延患者数	15,597	15,597	15,597	15,533	15,469
	1日平均患者数	63.9	63.9	63.9	63.9	63.9

科別入院患者数

(日、人)

診療科	年度区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	日数	365	365	366	365	365
内科	延患者数	3,560	3,560	3,570	3,560	3,560
	1日平均患者数	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7
外科	延患者数	6,313	6,313	6,330	6,313	6,313
	1日平均患者数	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
	延患者数					
	1日平均患者数					
	延患者数					
	1日平均患者数					
合計	延患者数	9,873	9,873	9,900	9,873	9,873
	1日平均患者数	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0

